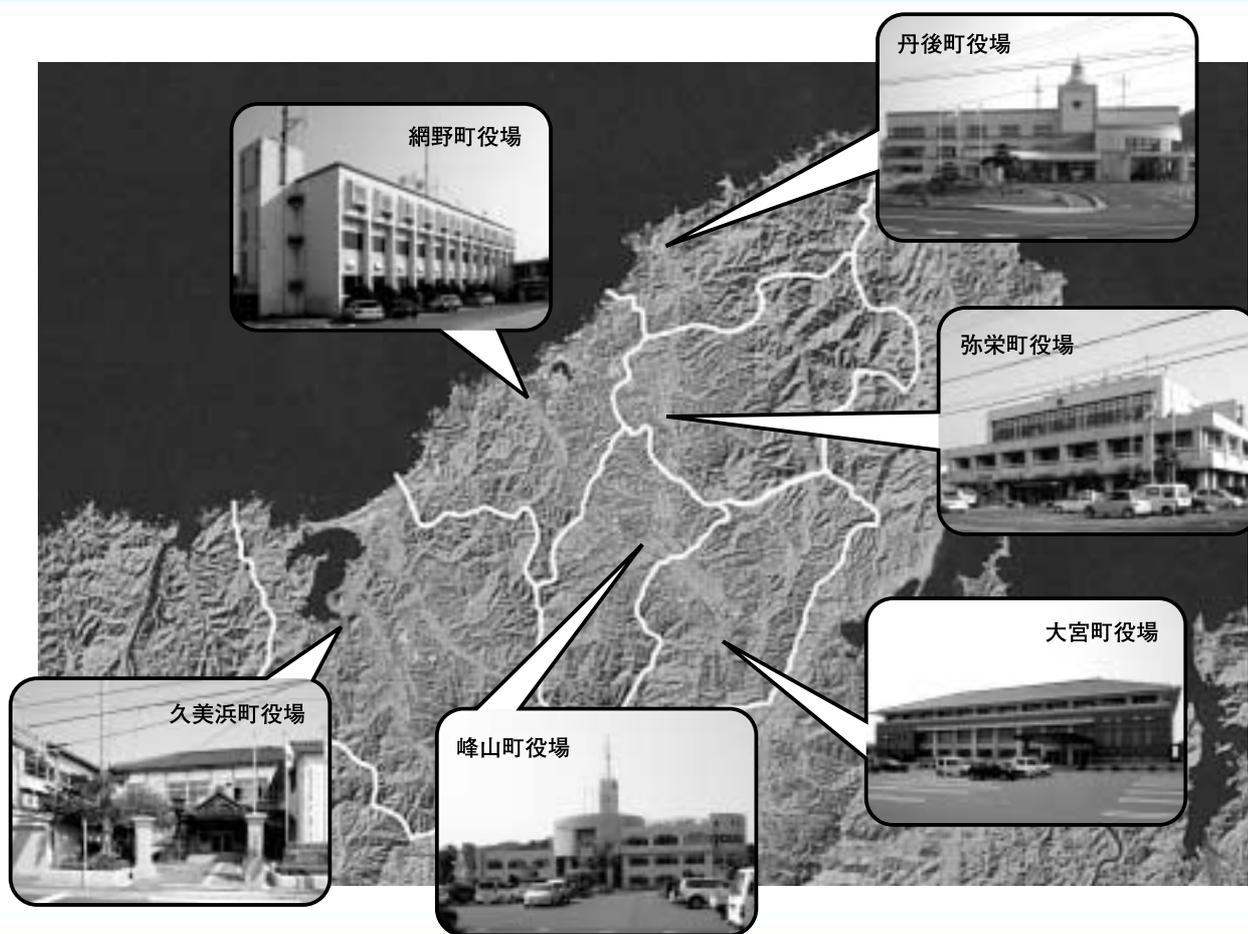


峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町

# GG 合併協議会だより

第2号 平成14年6月発行

6町の役場



## 6町の合併をみんなで考えましょう

### ちょこっとデータ

丹後6町をひとつの町と見ると  
丹後6町の総人口 65,578人(京都府で9番目)  
丹後6町の面積 501.83Km<sup>2</sup>(京都府で2番目)

### 目次

ちょっと聞いたろ…………… 2  
会議メモ…………… 5  
小委員会概要…………… 6  
考えよう！  
地域の新しいまちづくり…… 8

# ちよつと聞いたぞ

1回目だて

## 合併のことを、もっと知ってやあだつちや!

この前、丹後の6町が合併するのに協議会ができたというて聞いたけど、どういふことぢやあ。わしらあにも、そのことを詳しく教えてくれえな。そしたら、み〜んなで話し合えるだにやあきやあ。



丹後ベン太さん

**ベン太** 合併、合併いうて世間ではさわやあどるけど、何で合併せんとあかんぢやあ。

**答 え** 私達を取り巻く環境は、少子高齢化など、急速に変化しています。また、いよいよ地方分権が実行段階となっていますが、これからはますます、地域の特性を活かした地域づくりが求められています。しかし、国や地方の財政状況は非常に厳しい状態にあり、今後とも福祉など行政サービスを向上させていく必要がある中で、経費の増加、事業の専門的な人材不足などにより、今までどおりの行政サービスの提供が、困難なことが予想されています。こうした中、一層簡素で効率的な行財政運営を実現する一つの手段として合併が求められています。

**ベン太** だんだん年寄りが増えて行くだけけど、将来が、がっしやあ不安だわいぢやあ。わしらあを支えてくれる、わきゃあ世代はどうなるぢやあ。

**答 え** 丹後6町の人口は、昭和35年～平成12年の40年間で、14,528人減少しています。これは、現在の峰山町の人口とほぼ一緒です。65歳以上の人口は、昭和35年には11人に1人から4人に1人となっています。今後とも、この傾向はさらに進行することが予想されます。



丹後の将来を担うこども達

項 目	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	
人口(H12国調) (人)	13,564	10,805	16,056	7,164	6,132	11,857	65,578	
人口(S35国調) (人)	15,146	10,546	18,759	11,131	7,609	16,915	80,106	
高齢者比率	H12国調(%)	23.6	21.8	23.3	28.7	27.2	30.2	25.3
	S35国調(%)	8.0	8.9	7.4	10.4	10.3	10.7	9.1
面 積 (km <sup>2</sup> )	67.45	68.93	75.07	64.96	80.38	145.04	501.83	

資料：国勢調査より

丹後6町の将来人口予測は、10年後は4,125人、20年後には9,352人の減少と高齢化率の増加が予測されています。

### 《 将来人口の予測 》

町 名	実績値(人)	推 計 値(人)	
	平成12年(2000)	平成22年(2010)	平成32年(2020)
峰 山 町	13,564	12,397	10,766
大 宮 町	10,805	11,425	11,822
網 野 町	16,056	14,467	12,529
丹 後 町	7,164	6,279	5,448
弥 栄 町	6,132	5,953	5,682
久 美 浜 町	11,857	10,932	9,979
合 計	65,578	61,453	56,226

この数字は、コーホート要因法により、平成7年及び平成12年の国勢調査の数値をもとに試算

**ベン太** 4月から合併協議会がスタートしたらしいけど、合併するなんていつ決まったでやあな。

**答 え** 合併するとは、まだ決まっていません。合併協議会は、合併することの是非も含め合併に関するあらゆる事項を協議します。平成16年3月末までの、市となる要件の法律の期限を踏まえて、合併するとしたらあらかじめ調整しておく必要のある項目の確認や、新しい市の建設計画について協議するところです。

**ベン太** 世間では、どうなってるでやあな。

**答 え** 総務省調べによりますと、平成14年4月10日現在では、全国で法定合併協議会は65あります。その内、平成14年4月以降に設置された協議会は、この6町合併協議会も含め30となっています。

法定協議会	設置数	65
	構成市町村数	249
任意協議会	設置数	102
	構成市町村数	419
研究会等その他	設置数	350
	構成市町村数	1,558
合計	設置数	517
	構成市町村数	2,226



丹後6町では平成14年4月1日に合併協議会を設置

上記の合併協議会等の設置市町村数2,226は全市町村数(3,218)の約7割となっています。協議会を構成している市町村を合わせると平均人口は136,643人、平均面積は537km<sup>2</sup>となっています。

**ベン太** わしらぁに内緒でするだにやあだろうな。

**答 え** いいえ、住民意識調査等をもとに策定した「市町村建設計画」や「合併協定項目」の協議内容など、インターネットや協議会だよりなどで情報を明らかにしていきます。



ホームページを開設しています。

**ベン太** 「市町村建設計画」や「合併協定項目」って何でやあ。

**答 え** 「市町村建設計画」は6町が一つになったらどういうまちになるかを想定してつくる将来的なビジョン、各町の基本計画のようなものです。「合併協定項目」とは、6町が一つになった場合、事前に調整しておかなければならない項目で、協議会で審議されるものです。これは、合併の方式、合併の期日、新市町村の名称、新市町村の事務所の位置、財産や債務に関することなどの重要項目をはじめ、おおまかな項目として約50項目を予定しています。

**ベン太** もし合併なんてしたら、役場はどうなるでやあ。遠いなったりすらへんだか。わしらぁ足腰弱やあだで。

**答 え** 先に合併された事例から見れば、現役場庁舎は支所・出張所として、住民票、印鑑証明発行などの窓口業務は情報のネットワーク化により従来どおり行われるようにするのが通常です。また、地域住民の需要が高い機能については、別途検討されるなどの配慮もされているようです。

**ベン太** 役場が遠くなったら、わしらぁの意見が伝わらんとちゃうだか。

**答 え** 合併特例法では、合併関係市町村の区域を単位として合併市町村の長に意見を述べることのできる地域審議会をおくことができます。

**ベン太** 合併したら、何ええことがあるでやあ。詳しく教えてくれなわからんわ。

**答 え** 合併されることにより期待されること、また不安に思われることについては、先進の事例等から一般的には以下のようなことが言われています。

**期待されること**

- 1 行政区域が広域的になることで、行政サービスの利便性が向上します  
住居地及び勤務地の近くの窓口サービスが受けられるようになります。  
利用が制限されていた、他の町の公共施設の利用が可能となります。
- 2 今より高度化・多様化した、行政サービスが受けられるようになります。  
保健・福祉・医療・都市計画、国際化、情報化など高度専門性の見地から、選任の組織・職員が配置され、個性ある行政施策が展開できます。  
行財政基盤の強化により、充実・安定した行政サービスが受けられます。
- 3 重点的投資による基盤整備の早期推進や、大規模な投資を必要とするプロジェクトの実施が可能となります。
- 4 広域的な観点に立ったまちづくりと施策の展開  
広域的な視点から、道路や公共施設の整備、土地利用などが効果的に実施されます。  
環境問題、観光振興など広域的な調整を必要とする課題に有効な施策を講ずることができます。
- 5 行財政の効率化  
職員数については、定員適正化が計画的に行われます。  
三役、議員、各種委員など総数が減少し、その分経費が節減されます。  
狭い地域での、よく似た施設の重複がなくなります。
- 6 地域のイメージアップ、総合的な活力の強化  
地域の総合力が向上し、苦境を乗り越える力が強くなります。

**不安に思われること**

- 1 役場が遠くなって不便になるのでは。
- 2 周辺地域はさびれないか。
- 3 住民の声が届きにくくなるのでは。
- 4 地域の歴史、文化、伝統はどうなるの。
- 5 サービス水準が低下し、負担が重くならないか。



窓口業務はより便利に

**ベン太** い〜つまでに決めたらええでやあ。長やあこと、ようまっとらんで。わしらあ、気が短やあのに。

**答 え** 「市町村の合併の特例に関する法律」では、合併に対してのいろいろな支援策などが用意されていますが、平成17年3月31日で期限切れとなります。また、今まで人口4万人で中心市街地に在る戸数が全戸数の6割以上などの要件を備えていなければ市になれませんでした。平成16年3月31日までに合併して市となる場合に限り、この要件が緩和されます。本協議会では、各町の3月議会で提案されたように、6町の市への移行も視野に入れて、平成16年3月31日を一つの目途として協議をしていきます。

**ベン太** 合併に対するわしらあ意見は、どこに云うたらええでやあな。

**答 え** 協議会では、丹後6町で年齢階層別に約7,000人を抽出して意識調査を実施しました。これをもとに協議会で議論していただくとともに、シンポジウム等も計画しています。また、協議会には各町から議員の方3人と学識ある者として住民の代表3人の方々も参画し、住民の皆様の意見をもとに議論いただいています。協議会の内容も、各町役場の方で公開しています。こうしたことをもとにして、地域の皆さんで議論していただき、各町の窓口申し出て下さい。

**ベン太** 今日はこれぐりゃあにしといちやるわ。今度は孫の「のこちゃん」を連れてくるさきやあに、もっとわかりやす云うてくれなあかへんでえ。

新会長に  
**濱岡六右衛門**  
**網野町長が就任**



新会長 濱岡六右衛門網野町長

丹後六町の町長会では、六月一日付けで故相見丹後町長の急逝に伴う峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会の新会長に、濱岡六右衛門網野町長を選出しました。

濱岡網野町長は、同協議会の副会長として、発足時より協議会をリードして来られました。副会長には吉岡光義久美浜町長が選出されました。また、合併協議会事務局の事務局長も、丹後町の田中助役から網野町の梅田助役に交代となりました。

**会議メモ**

五月十六日開催

第一回建設・産業小委員会

合併協定項目に係る事業の調査の現状について

建設及び農林水産関係、商工観光関係や使用料・手数料に関する事など二四六五項目が報告されました。

建設・産業小委員会関連専門部会・分科会開催状況について

五月十六日までに、各町の関係課長で構成される専門部会が八回、担当者で構成される分科会が十四回開催されたことが報告されました。

事務事業調査の例示について

現在各町で行われている事務事業調査について、今後の協議に備えて、調査が例示されました。

五月二十二日開催

第二回住民・福祉・教育小委員会

合併協定項目に係る事業の調査の現状について

各種社会福祉事業、保健衛生、国民健康保険、介護保険などの取り扱いに関する事など六〇三項目が報告されました。

住民・福祉・教育小委員会関連専門部会・分科会開催状況

五月二十二日までに、各町の関係課長で構成される専門部会が八回、担当者で構成される分科会が二十三回開催されたことが報告されました。

事務事業調査の例示について

現在各町で行われている事務事業調査について、今後の協議に備えて、調査が例示されました。

五月二十四日開催

総務・企画・議会小委員会

合併協定項目に係る事業の調査の現状について

地方税、財産及び債務、議会議員の定数及び任期の取り扱いについてなど一六四八項目が報告されました。

総務・企画・議会小委員会関連専門部会・分科会開催状況

五月二十四日までに、各町の関係課長で構成される専門部会が八回、担当者で構成される分科会が三十回開催されたことが報告されました。

事務事業調査の例示について

現在各町で行われている事務事業調査について、今後の協議に備えて、調査が例示されました。

五月三十日開催

新市建設計画策定小委員会

協議第一号・・・確認

新市建設計画について「計画策定の方針」(抜粋)

計画の趣旨

六町の速やかな一体化を促進し、住民福祉の向上と新市全体の均衡ある発展を図る。

計画の構成

本計画は、基本方針、事業・施設の統合整備、財政計画を中心に構成する。

計画の期間

概ね十年程度の期間について定めるものとする。

その他

住民生活に急激な変化を及ぼさぬよう十分配慮し、地域バランス・財政事情を考慮し、健全な財政運営が行われるように策定する。

また、住民の意向を十分踏まえるとともに、合併効果

の最大活用及び懸念事項への適切な対応に留意し策定するものとする。

## 第2回 建設・産業小委員会

日時 平成14年5月16日(木) 13:30 ~ 14:30

場所 久美浜町 福祉センター

出席者 14人

主な議題 (1) 小委員会の協議の進め方について  
(2) 次回の議題について  
(3) 次回の小委員会の日程について

議事経過

1 開会

2 副委員長長の選任

異動に伴う後任の副委員長長の選任

網野町議会議長に就任された田茂井委員を選出(全員一致)

3 正副部会長の紹介

4 議事

(1) 小委員会の協議の進め方について

事務局における調査の現状報告

事務事業一元化調整方針について

主な意見

委員 調整方針の水準を決めるのが小委員会が一番の役割だろうが、たとえば各事業毎に廃止を含めた議論をする時間があるのか。

小委員会で決定したことが協議会で覆ることもありうるだろうか。小委員会と協議会との役割、権限はどうか。

事務局 部会で案を作成し提示するが、8割程は確認だけで了承いただくと考える。また、新市に移行した後に調整すると判断いただくのもそれなりにあるのではと考えている。



- 小委員会の資料、協議内容はすべて他の小委員会の委員にも伝えることとなっている。
- 委員 事務局が苦勞した点を委員に伝えていただくことがスムーズに議論を運ぶポイントではないか。
- 事務局 背景も含め、説明できるよう努力する。
- 委員 簡略化できるものは8割は大目みで、残りの正味の2割について重点的にすべきだ。そうしないと週1回開いても時間が不足する。
- 事務局 事務局は資料作成はするが、扱いについては権限が無い。住民代表の我々が検討するというところに重点を置かれたい。
- 事務局 重点議論できるよう配慮したい。その整理のため、今、時間がかかっている。住民代表としての目で見られることは、事務局担当として基本的に認識している。貴重な意見、アドバイスをお願いしたい。
- 委員 協議会や小委員会の協議の節目などの大まかな日程を示されたい。
- 事務局 本協議会に係る議題等の提案・確認などを含め日程については、設置者としての6町長が協議し決められるものと承知している。総務省発行のマニュアルに従えば、協議期間を2年とし、移行期間を6~8ヶ月かかると示していることから平成16年3月までの合併成立には、来年の今ごろ大筋で協定項目全ての確認ができてきていること、合併前事業を含め、国等の予算の確保のためには、この秋ごろに「新市建設計画」の大すじまとめまでは行っておく必要がある。
- (2) 次回の議題について
- 事務局の現況報告  
合併協定項目の調整方針について

## 第2回 住民・福祉・教育小委員会

日時 平成14年5月22日(水) 13:30 ~ 15:25

場所 弥栄町役場 2階大会議室

出席者 13人 欠席者 1人

主な議題 (1) 小委員会の協議の進め方について  
(2) 次回の議題について  
(3) 次回の小委員会の日程等について

議事経過

1 開会

2 報告 合併協議会委員及び所属の変更について

4月28日に執行された網野町議会議員選挙に伴う合併協議会への選出議員及び所属の変更に伴い、住民・福祉・教育小委員会は、田茂井誠司郎氏に代わり奥野重治氏が所属となった。

3 正副部会長の紹介

4 議事

(1) 小委員会の協議の進め方について

事務局における調査の現状報告

事務事業一元化調整方針の検討

主な意見

委員 部会ごとに現状報告を受けたが、大局的な問題を検討している部会と事務レベルのことを検討している部会とある。「新しいまちに向かってどのようにするのか」という視点で検討課題を出していただきたい。

委員 今後の事務のすり合わせを行ううえで、最も重要で基本となるのは、「どのようなまちづくりをするか」であると思う。

委員 新市建設計画策定小委員会と他の3つの小委員会の関係が理解しにくい。

事務局 協議会で全ての事項を協議していただくが、膨大なものとなるため事務事業をより専門的に調査・検討をするため4つの小委員会を設置している。事務事業の一元化協議等はそれぞれの小委員会で行っていただくことになり協議会においては、それぞれの小委員会の意見が尊重される。また、このための一手段として、他の小委員会の審議内容が把握できるように、全委員に協議内容と資料を配布することとしている。



- 委員 事務レベルの専門部会、分科会と小委員会は区分する必要がある。理念の中にあるように、住民生活に支障をきたさないよう円滑に移行するには、事務的に整理する必要がある。専門部会にまで大局的な意見を求めるのは困難だと思う。
- 委員 委員各々、新しい市として住民がよりよい生活が送れるようにという目標を持って協議会に参加しているはず。この観点から事務事業の議論に際し、こういうあり方が望ましいというような資料を希望している。
- 委員 議論を進める前段としては理念が大切である。一極集中を防ぎ全体としてプラスになるサービス提供をどのようにするのが議論の中心と考える。この意見が他の小委員会に伝わり、他の小委員会の意見が我々にも知られることで、相互関係を保てるのではないかと。
- 委員 新しく作るうとするまちはとても広い面積となる。周辺地域にもきちんと住民サービスが行えるように事務事業調整を議論いただきたい。6町域の均衡ある発展をする視点、地域の特性を考慮することを踏まえ、事務事業の調整を行うべき。
- 委員 身体障害者関係の調書において課題欄が空白になっているが、この場で問題を提起すべきなのか。
- 事務局 本資料は、経由機関としての町の事務を例示したもので、こうした事務のあり方について、国の見直しの動きもあるため、あえて記述していない。ただ、法令等に基づき、全国どこでも同じ事務を町が行っているということを一例として承知いただくために本日提出している。
- (2) 次回の議題について
- 事務局の現況報告  
合併協定項目の調整方針について
- 委員 事務的に整理できるものは確認するだけで時間を要しない。すり合わせに時間を要するものは早く提起していただき、時間切れにならないようにしていただきたい。
- 事務局 地方自治法などには、府、市町村で行う事務が規定されている。町の事務事業の約8割はどの町でも同じであり、残り2割がそれぞれの歴史的経過の違い等による首長の独自の施策である。この観点から小委員会に協議いただくものは、各町の理事者のご意見も伺っておく必要があり少々時間をいただきたい。

## 第2回 総務・企画・議会小委員会

日時 平成14年5月24日(金) 9:30~10:46

場所 峰山町役場2階大会議室

出席者 14人

主な議題 (1) 小委員会の協議の進め方について  
(2) 次回の議題について  
(3) 次回の小委員会の日程について

議事経過

1 開会

2 報告

合併協議会委員及所属の変更について

4月28日に執行された網野町議会議員選挙に伴う合併協議会への選出議員及び所属の変更に伴い、総務・企画・議会小委員会は、末次祥孝氏が所属となった。

3 正副部会長の紹介

4 議事

(1) 小委員会の進め方について

事務局における調査の現状報告

事務事業の一元化調整方針について

各部会の現状報告

主な意見

委員 合併に向けてのスケジュールであるが、いつの議会で各町は議論しなければならないのか?我々の心積もりもあるので目安を聞かせてもらいたい。

事務局 事務局レベルでは、日程については6町の町長の立場で決めてもらうものと考えている。参考として総務省がマニュアルを出しているが、これによると協議会の協議期間を2年と想定している。16年3月末まで、ということで協議会発足の議決を各町されていることから、来年の今頃にはおおむねの合併に係る調整が済んでいることが必要となっている。

委員 項目の中で、財産及び債務の取り扱いについて、基金残



高、公債費という項目があるが、いつの時点で調整されるのか?合併を控えて駆け込み事業がうわさされているがどのようになるのか?

事務局 各町での事業はそれぞれの実情を考慮し、首長が判断されるもの。財政状況については、今事務事業のリストアップをしている中であり、その後各理事者と協議の上、お示しすることとなる(時期は未定)

委員 やはり京都府の指導なり、各町どのような事業を行っていくのか、公開等も考えられないか?

事務局 総務省は、駆け込み事業と決められるものは起債を措置しないと明確に言っているが、超財政の規律ある運営がされていることを前提としている。町の財政そのものについては、新市建設計画の中で町の財政分析を行い将来の財政計画を示すということにしている。

委員 今後調整項目を調整するスケジュールが非常にタイトになると想定するが、小委員会での協議や部会への差し戻しをしている余裕があるのか。また小委員会がかなりの決定権を持つものとなると考えるがどうか?

事務局 協議会が専門分野の議論を行うために小委員会を設けている。協議会で確認することは基本として必要であるが、小委員会の確認は当然尊重される。協議事項によっては、継続審議がつづくことは想定している。部会への差し戻しもありうるが、できる限り手戻りのない案をお示ししたい。

委員 調整方針の協議は、全体ですることではないか?

事務局 各小委員会ごとに同じ原案を示して確認をいただいた上で、協議会で最終確認を取るスケジュール事務局レベルでは考えている。

委員 それぞれの小委員会で異なったときはどうなるのか?

事務局 おおむね小委員会で理解を得られる形で提案したい。

(2) 次回の議題について

事務事業の現況報告

合併協定項目の調整方針について

## 第2回 新市建設計画策定小委員会

日時 平成14年5月22日(水) 13:30~14:25

場所 峰山町役場2階大会議室

出席者 18名 欠席者 1名

主な議題 (1) 「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査」経過報告について

(2) 新市建設計画の「計画策定の方針」について

(3) 次回の議題について

(4) 次回の小委員会の日程等について

議事経過

1 開会

2 報告

合併協議会委員及び所属の変更について

4月28日に執行された網野町議会議員選挙に伴う委員の変更と所属替えが行われ、当小委員会では末次祥孝委員に代わり田茂井誠司郎委員が所属となった。

3 議事

(1) 「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査」経過報告について.....確認

(2) 新市建設計画の「計画策定の方針」につて.....確認

主な意見

委員 計画の趣旨に書いてある均衡ある発展とあるが、これを重視していただきたい。また、計画の構成に書いてある基本方針とは、計画の趣旨に書いてある基本構想・基本計画・実施計画のことですか。

事務局 基本構想・基本計画・実施計画は新しい市になってから



委員 作るもので、基本方針とはそこへ誘導していくもの。計画の構成の中にある公共施設の統合整備は、合併特例法では支所・出張所、小中学校の統廃合、公共施設の統合整備となっている。周辺部においては寂れるという懸念があるが、均衡ある発展を重視してほしい。基本方針の案にあるように、住民の意向を十分に踏まえること。この観点から、今回実施の住民意識調査を重視しており、調査票に書かれた不安や、要望を十分分析し、対応策を含め分かりやすくコンパクトにまとめ、公表し住民理解を求めるとともに、これをもとに計画づくりをいただくことが、真の住民参加による、夢のある「21世紀のまちづくり」考える。

事務局 提案の趣旨を十分尊重します。

委員 本計画に基づき新市に委ねるとあるが、この計画は新市で新たに作る計画に生かされるのですか。

事務局 基づきという言葉を中心に、尊重していただく。

委員 この新市建設計画策定小委員会と他の3つの小委員会での協議とはどういう関係になり、3小委員会での新市のあり方に係る意見を、建設計画にどう取り入れられるのか。

事務局 他の小委員会では、新市になる場合の事務について一元化調整等を、専門的に議論いただくが、その中での新市への期待や理念についての意見については、事務局から理事者に相談の上、計画への反映を工夫したい。

(3) 次回の議題について

「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査」  
結果中間報告

新市建設の将来像・目標の協議

6町の財政状況の現況及び財政計画の策定方針

# 考えよう！地域の新しいまちづくり

## 中山 力 委員 (峰山町)



中山 力 委員

合併については、将来あるべき姿、時代背景も含め、地域が発展していくためのひとつの手段だと思っています。何かを始めるには、目からうろこをおとすことから始める必要があります。そうした中で、産業振興の視点から合併を捉えていきたいと思えます。

## 石河 武 委員 (大宮町)



石河 武 委員

各町結構な公債残高を持っているが、将来的に交付税を減らされたら、行政には倒産がないかもしれないが、強制的に合併を促進されるかもしれない。そうだったら、痛みを伴うかもしれないが、合併は今やっておくべき問題であり、避けて通れないと考えます。

## 阿部智子 委員 (網野町)



阿部 智子 委員

メディアが発達して、インターネットで全世界と付き合っている時代が来ている。地域もこのままではいけないと感じました。ここではディスカッションして、賛成反対に関わらず議論を深めていきたいと思えます。

## 戸石育代 委員 (丹後町)



戸石 育代 委員

今の流れの中で考えると、現在の各町の財政ではやっていけない時期がくるということで、その手段の一つとして合併があると考えています。丹後町は、取り残される不安がぬぐえませんが、町民の方の意見を集約するなどパイプ役になればと思っています。

## 行待佳平 委員 (弥栄町)



行待 佳平 委員

合併に対しては、自分(住民)の生活をよりよくするためのひとつの方法として、様々な勉強を積む中で、大局的にみて判断して行きたいと考えます。一人一人が真剣に考え、英知を出し合えるためにも、この協議会は会議の資料も含めオープンに進められています。広報活動をしっかりしていただき、住民に広く知ってもらわねばなりません。

## 奥田圭介 委員 (久美浜町)



奥田 圭介 委員

「流水濁らず」といって、じっとしていていけない。物事は改革していかなければならない。そのためには寛容・勇氣・決断を持ち、地域の特性を見て地域が生き生きしてくる、活性化してくるような改革をしなければなりません。



結果については集計後公表されます

**住民意識調査では  
大変お世話になりました**

丹後六町で二十歳以上の年代を六階層に分けて、七千人を無作為に抽出し、五月中旬より住民意識調査が行われていました。町民の皆様方には、大変お世話になりました。

また、同時期に府立峰山・網野・久美浜高等学校の最終学年生で、丹後六町から通学している生徒の中から八百人を抽出して意識調査を実施しました。

詳しい調査結果につきましては、後日報告させていただきます。

### 今後の会議予定(傍聴人数は予定)

	第 3 回 目	傍聴人数	第 4 回 目	傍聴人数
総務・企画・議会小委員会	6月14日(金)PM1:30~峰山町役場	10人	7月15日(月)PM1:30~丹後町役場	10人
住民・福祉・教育小委員会	6月11日(火)PM1:30~アグリセンター大宮	10人	7月11日(木)PM1:30~弥栄町役場	10人
建設・産業小委員会	6月 6日(木)PM1:30~あみの図書館	10人	7月 9日(火)PM1:30~JA久美浜支店	10人
新市建設計画策定小委員会	6月20日(木)PM1:30~あみの図書館	10人	7月17日(水)PM1:30~丹後町役場	10人
第2回峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会			6月26日(水)PM1:30~峰山町総合福祉センター	30人